

スーパーティーチャーによる1人1台端末を活用した 授業公開研修



嬉野市立嬉野小学校 灰崎 紀子 教諭

単元名：「面積」～どんな図形の面積もお任せあれ！～

(小学校第5学年 算数科)

ICT活用のポイント

- Googleスライドを各児童のタブレットに配付し、各自のペースで「読み上げ計算」に取り組む。
- デジタル教材「等積変形」（熊本市教育センター）を活用し、図形を切ったりつなげたりして、児童の思考を助けるツールとする。
- 授業支援ソフトを使って教師の端末から児童の取組の様子を確認したり、発表する児童の考えを他の児童に転送したりして、児童の取り組みをサポートする。
- Google Formsで本時の学習の振り返りやアンケートの集計結果を即時に把握する。

学習の流れ 全12時間（本時 3／12）

本時の目標 一般三角形の面積の求め方を、求積可能な図形の求め方を基に考えている。
【思考・判断・表現】

導入

①読み上げ計算に取り組む。（1分間）

活用ポイント

【Googleスライド】

②学習課題を捉え、学習のめあてを考える。

<めあて>

ふつうの（直角がない）三角形の面積の求め方を説明しよう。

展開

③解決の見通しを持つ。

- 縦に二つに分ける。
- 横に二つに分ける。
- 合同な三角形を繋げる。

④自力解決に取り組む。

活用ポイント

【デジタル教材「等積変形」
（熊本市教育センター）】

⑤自分の考えと友達のことを交流する。

⑥全体で話し合い、分類・整理する。

活用ポイント

【授業支援ソフト】

まとめ

⑦本時のまとめをする。

<まとめ>

ふつうの三角形の面積も切つてのせたりすべらせたりして長方形にすると求めることができる。

⑧振り返りをする。

活用ポイント

【Google Forms】

⑨次時の学習について知る。



←「SAGA Eコネクト」ではたくさんの事例を紹介しています。

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>



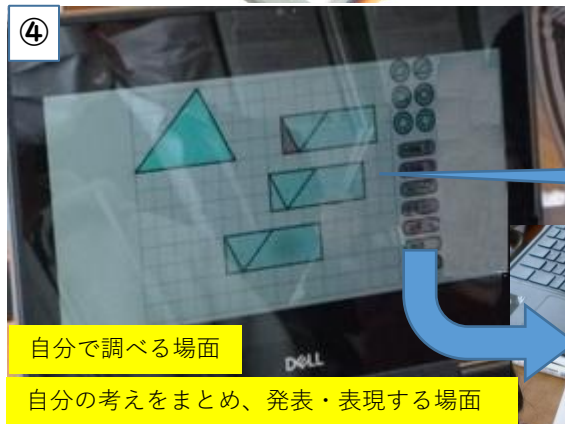
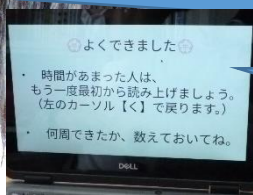
①

①読み上げ計算に取り組む。(1分間)
【Google スライド】

フラッシュ演算が、自分のペースに合わせてできます!

すべて終わると励ましの言葉があり、やる気もUP↑します。

自分の考えをまとめ、表現する場面



④

④自力解決に取り組む。
【デジタル教材「等積変形」(熊本市教育センター)】

図形を切ったり張ったり組み合わせたりが簡単にできます!

1人1台端末で考えたことをノートにまとめます。

自分で調べる場面

自分の考えをまとめ、発表・表現する場面



⑤

⑤自分の考えと友達のことを交流する。
【デジタル教材「等積変形」(熊本市教育センター)】

画面を見せ合うことで、考えがわかりやすくなり、交流が活発になります!

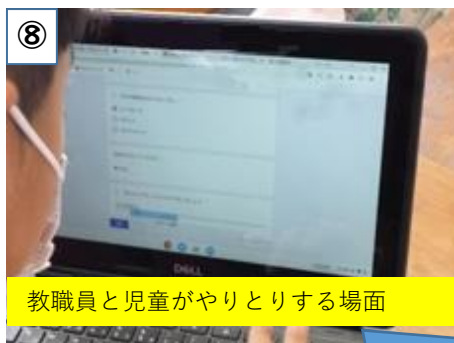
児童同士がやりとりする場面



⑥

⑥全体で話し合い、分類・整理する。
【授業支援ソフト】

教職員と児童がやりとりする場面



⑧

⑧振り返りをする。
【Google Forms】

教職員と児童がやりとりする場面

⑥児童の考えを一覧表示することで、回答状況がすぐわかり、指名や支援を計画的に展開できます。

⑧児童の理解度が瞬時にわかることで、次時の授業づくりの手立てに活かすことができます。

令和4年11月7日に行われた、スーパーティーチャー灰崎紀子教諭(嬉野市立嬉野小学校)の実践です。単元のゴールに向けて、デジタル教材を活用し児童の考えを深めることができる素晴らしい授業でした。

<授業公開研修に参加された先生方の声>

- ・教材アプリで図形を切ったり、移動したりできて、視覚的に「まとめ」につながる学習だった。
- ・子どもたちがタブレットを使うことで意欲的に活動していることが改めて再認識できた。
- ・読み上げや振り返りなど算数に限らず、どの教科でも使えると感じた。
- ・大変参考になりました。使えるものを積極的に活用していきたいです。